

ハイランドレポート  
(高原通信)

# Highland report !?

D.A.R.C 那須アデクションケアセンター  
ニュースレター 第13(2004. 4. 9)

## タイ研修レポート

NACC 栗坪千明

下記の日程でタイの施設へ研修の旅に行ってきました。そのレポートを何回かにわたって掲載します。

日程：2004年1月27日～2月5日

行先：タイ北部都市チェンマイの4施設

1. THAI MASSAGE SCHOOL  
“SHIVAGAKOMARPAJ”
2. カトリック系施設  
バーンミニットマイ
3. 政府施設  
“Northern Drug Dependence Treatment Center”
4. タムクラボーク寺院

今回の施設紹介は、ここから始まります。

### 1. SHIVAGAKOMARPAJ

民間で50年ほど前から活動開始。タイには昔から衣・食・住・薬（薬草）という言葉があり、もともとはこの施設も、その薬の部分を担当する病院であった。

そのような病院の活動の中で、家族の連れてくる薬物依存症者の治療に当たることをしていた。

現在はマッサージやハーブについての学校業務が中心の活動をしている。依存者への治療はハーブを使った2週間の解毒治療のみを行なっている。利用については本人に止めたいという意思があれば誰でも受け入れる。

1日目は肉体的な機能チェックを行ない、その後1日半位かけてハーブを飲ませて体の中のバランスを調整する。ハーブの蒸し風呂に入る（タイ

では熱い風呂に入る習慣はない) ことを繰り返す。3時間おきにハーブの飲み物を飲み、ハーブ風呂には朝夕の1日2回入る。一週間ほどすると、瞑想・運動・ヨガなどの体系的なプログラムを行なう。

プログラムは2週間位で終了。2週間分のハーブを持たせて家に帰す。しかし再発して戻ってくるケースは60パーセント。戻る場合は8ヶ月くらいで戻ってくる。

はじめに本人に回復する意思があるかの確認をして、意思があれば禁断症状などへの対応として、2～3日は部屋を外側からロックし、状態を見ながらハーブのお風呂やハーブの飲み物を与える。

精神的なアプローチは日本では考えにくいことであるが、仏教への信仰を取り入れたり、頭部にある感情をコントロールするマッサージを本人に教えたりする。

ハーブを摂取する時期は自分の生まれた曜日と満月の日。

ハーブ・マッサージスクールは外国からの入学者が多い。日本からも多くの方が来ている。ただし授業はタイ語のみで行なわれる。

依存者本人のスタッフは居ない、ほとんどがマッサージ師などである。



治療開始前の時、この前で誓いを立てる



ハーブの蒸し風呂

マッサージスクール



ハーブは100種類以上使われ、効能によって分類、保管されている。

## 仲間

### 依存症のノムテツ

僕が最初に覚せい剤に手を出したのは、高校を卒業したばかりの19歳のときでした。

クスリに手をだした理由は好奇心とかではなく、そのころ憧れていた芸能人が使用していることを聞いて、その人になりたくて薬を使えばその人になれると思い毎日毎日使い続けました。

結果、半年後に警察に逮捕され京都少年鑑別所に入りました。毎日、面会に来てくれた親に出たら薬をやめると約束しました。

だけど、外に出る日が近づくにつれ、クスリをやりたくてやりたくて約束などどうでもよくなり、外に出たその日からクスリ漬けになり自分の世界に浸っている毎日でした。

だけど、そんな日々は長くは続かず半年後にまた逮捕され医療少年院に入りました。少年院はいじめがあると聞いていたけど、そんなこともなくよゆうでした。中ではクスリの仲間を増やし、少年院を出たらまたクスリやったるで言う気持ちでした。

少年院を出て一応、仕事には就いたけどクスリを使いながらやっていたので2ヶ月も持たずにクビになり。

そんな生活が嫌になり、また自分の世界に浸ってしまい、その時から連続使用をして体重が45キロまで落ち狂っている所を、またまた逮捕され刑務所に3年入ることなり自暴自棄になっている所を救ってくれたのは、いつも面会に来て一生懸命励ましてくれた親父とお袋でした。

出所して暫くはクスリの欲求と戦いながら生活していたけど処方をがぶ飲みして会社で問題を起こしクビになり、そんな事を何度か続けているうちに、なんだかすべてがどうでもよくなって家で何度か暴れてしまい自分の力ではもうどうにもならなくなってしまい仲間の力を借りて去年の7月にびわこダルクに繋がりました。



だけど引きこもりの生活が長かった為、仲間とのコミュニケーションがうまく行かずトラブルばかり起こし辛くなり、11月から那須ケアセンターにお世話になっています。那須に来てからも仲間とトラブルばかり起こし、なぜ自分ばかりトラブルを起こすんだろうと悩み考え、それも病気なんだと考えられる様になり、今では仲間とのコミュニケーションも取れる様になり身体的にも精神的にも調子がいいです。



今も週1のペースで問題を起こすけど、これからも今日一日で行きたいと思います。

### 支援会員募集のお知らせ

昨今、社会問題の一つとして若年層者の薬物使用の増加が叫ばれています。薬を止められなくなってしまった人達の回復の場として、那須ケアセンターは薬物乱用防止の一役割を担っていると自負しております。

しかし、いまだ補助制度の利用が出来ない状態なので、皆様のご協力が必要です。ぜひ支援会員となって薬物依存者の回復にご協力下さい。

年会費一口五千元より ※別紙払込表でお申し込みお願いします。  
また、現在施設維持費及び整備費が不足しており運営が軌道に乗るまでの間皆様の末永い支援をお願いいたします。

## 週間プログラム

日	土	金	木	水	火	月	曜日 時間
起床 7:20 ・ 朝食 7:30							
● セルフケア	● ミーティング	● ミーティング	● ミーティング	● ミーティング	● ミーティング	● ● ミーティング スタッフ ミーティング	午前(九時～十時半)
	作業班・調理班の仕事・昼食 等						
	● セルフケア	● オキユベイシヨナル プログラム (山林作業・パソコン)	● ● ステップミーティング コン・ゲーム	● スポーツプログラム (那須 SC・スキー・スノボ)	● ● ハウス ミーティング 洗車		午後(一時半～三時)
夕食							
● 須賀川カトリック教会 (第一日曜日)	● センター	● 大田原カトリック教会	● センター	● 那須カトリック教会	● 白河カトリック教会	● ● 松が峰カトリック教会 (宇都宮) 郡山細沼教会	NAミーティング
就 寝 23:30							



今年のほだ木打ち込み

### 献金、献品を下された方々

福田澄夫様、福田コト様、岡山美枝子様、水井清次様、高橋正子様、  
佐藤忠雄様、佐藤明美様、萩野洋子様、大藤礼子様、高橋美紀様  
久保君子様、長谷川和則様、小西憲様、アナク様、宇都宮家族会様  
たいらもりみち様、取手カトリック教会様、マイケル・コールマ様  
取手カトリック教会様

匿名 8 名様

発送作業の簡略化の為、郵便振替用紙は全員に同封しています。  
ご理解のほど宜しくお願い致します。



D.A.R.C 那須アディクションケアセンター  
〒329-3225 栃木県那須郡那須町豊原丙 3227 番地 2

TEL 0287-77-7157 FAX 69-7158

Eメール [n-cc@mte.biglobe.ne.jp](mailto:n-cc@mte.biglobe.ne.jp)

ホームページアドレス <http://www5f.biglobe.ne.jp/~NACC/>